

## 第 29 節 泌尿器科研修〔選択科向け研修〕

### 一般目標

泌尿器科における種々の尿路系、男性生殖器系病変を有する患者を診察し、外来・病室・手術・エンドウロロジー・ESWL(尿路結石体外衝撃波治療)など全般にわたる基礎知識、初歩的処置・手技を修得する。

### 具体的目標

- ① 泌尿器系、男性生殖器系の解剖整理を正確に理解し述べることができる。
- ② 泌尿・外性器の視・触診所見を正確に理解、診療録に記載することができる。
- ③ 前立腺の触診が確実におこなえる。
- ④ 一般検尿の採取法を取得し、検査所見を正しく評価できる。
- ⑤ 導尿が正確にできる。
- ⑥ 尿道留置カテーテルの使用法を正確に知り実施できる。
- ⑦ 腹部超音波検査(リニア走査)を実施し読影ができる。
- ⑧ 血尿の症状・病態を理解し、病因の鑑別ができる。
- ⑨ 尿道炎、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、精巣上体炎などの尿路感染症を理解し救急処置を実施できる。
- ⑩ 尿路結石を理解し救急処置を実施できる。
- ⑪ 腎外傷、膀胱破裂、尿道損傷を診断できる。
- ⑫ 泌尿器科的 X 線画像(KUB, CT)の読影ができる。

### 実臨床研修

- ・ 各診療チーム毎に毎朝夕の回診を行う。
- ・ 各症例の問題点、治療法などを確認し、討議する。
- ・ 毎週月曜日の放射線読影との合同カンファレンスにおいて、画像所見の確認と問題点を共有する。
- ・ 毎週月曜日の診療カンファレンスにおいて、病棟看護師ならび薬剤師との連携を密にして、各症例毎の情報共有をする。

### 初期救急対応、当直対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

当直は、指導医の指導の下に、外来や病棟での救急対応を行う。

### 研修評価

- ・ 各症例毎の問題点、治療内容を上級医と討議し、その理解度を評価する。

- ・ 症例での疑問点などは文献検索も積極的に利用し、検討しているか評価する。
- ・ 学会活動を積極的に行い、知識をアップデートしているか評価する。

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	手術 病棟管理	外来 病棟管理	手術 病棟管理	外来 病棟管理	手術 病棟管理
午後	手術 カンファランス	病棟管理 膀胱鏡検査 ESWL	手術 病棟管理	病棟管理 膀胱鏡検査 ESWL	手術 病棟管理